第32回 名古屋クラシックフェスティバル

©Peter Miller

©KASSKARA / DG

現代の鬼才サロネンとイギリスの名門、
そして最高峰のヴァイオリン

エサ=ペッカ・サロネン指揮
フィルハーモニア管弦楽団
Philharmonia Orchestra

ヴァイオリン：ヒラリー・ハーン

シベリウス：交響詩「フィンランディア」op.26
J.Sibelius : Ton-poem"Finlandia"op.26

ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 op.77
J.Brahms : Konzert für Violine und Orchester op.77

シベリウス：交響曲 第2番 ニ長調 op.43
J.Sibelius : Symphonie No.2 op.43

©Clive Barda

2015 3/3(火) PM6:45
愛知県芸術劇場コンサートホール

S ¥21,000　A ¥18,000　B ¥14,000
C ¥11,000　D ¥ 8,000　学生¥3,000（税込）

学生券
ご希望の方は往復ハガキに、希望公演名、公演日時、住所、氏名、年齢、電話番号、学校名、学籍番号を明記の上、中京テレビ事業「学生券」係までお申込みください。公演の3週間前に抽選の上、お席をお取りできるか否かご連絡致します。往復ハガキ1枚につき、1公演1名様でお願い致します。

■プログラム内容等変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
■未就学児のご入場はご同伴の場合でもお断り致します。

中京テレビ 45th　主催：中京テレビ放送　企画・運営：中京テレビ事業

お問合せ お申込み 中京テレビ事業 ☎052-957-3333
〒460-8613 名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル6F（月～金 AM10:00～PM5:00／土・日・祝日休業）

http://cte.jp 中京テレビ事業 検索
座席表からお席をお選びいただけます！

5/24(土) AM10:00～ 発売開始

チケット販売所
中京テレビ事業チケットセンター …… 052-320-9933
チケットぴあ（Pコード 223-435） …… 0570-02-9999
ローソンチケット（Lコード 46508） …… 0570-084-004
愛知芸術文化センターPG …… 052-972-0430
栄プレチケ92 …… 052-953-0777
e+（イープラス） …… eplus.jp
名鉄ホールチケットセンター …… 052-561-7755
中日サービスセンター …… 052-263-7282
他　有名プレイガイド

“極上”のシベリウス、“貴重”なブラームス

多彩なプロジェクトと、意欲的なプログラムで知られるフィンランドの実力派、エサ=ペッカ・サロネンとイギリスの名門として名高いフィルハーモニア管。得意とするシベリウスと、ブラームスの協奏曲をお楽しみいただきます。世界最高峰と称される若手ヴァイオリニスト、ヒラリー・ハーンが演奏するこのヴァイオリンの名曲は、「サロネンとなら」と演奏を快諾したというもの。現代曲からクラシックの名曲まで意のままに操る鬼才サロネンとフィルハーモニア管ならではの名演が期待されます。

エサ=ペッカ・サロネン（首席指揮者&アーティスティック・アドヴァイザー）
Esa-Pekka Salonen（Principal Conductor & Artistic Advisor）

©Clive Barda

ヘルシンキ生まれの指揮者・作曲家。シベリウス・アカデミーに学び、1979年、フィンランド放送響を指揮して指揮者デビュー。1985年～95年スウェーデン放送響の首席指揮者、また1992年～2009年までロス・アンジェルス・フィルの音楽監督を務め、桂冠指揮者となった。

2008年9月フィルハーモニア管弦楽団の首席指揮者・アーティスティック・アドヴァイザーに就任。

多数の現代作品の初演をはじめとする現代音楽に対する解釈もきわめて高く評価されている。また、受賞暦としてキジアーナ音楽院からシエナ賞、英国のロイヤル・フィルハーモニック・ソサイエティからオペラ賞・指揮者賞、フランス政府から芸術文化勲章「オフィシエ」等がある。

©Michael Patrick O'Leary

ヒラリー・ハーン（ヴァイオリン）　*Hilary Hahn, Violin*

1979年ヴァージニア州レキシントン生まれ。3歳でボルティモアに移り、ピーボディ音楽院のスズキ・メソッド・プログラムでヴァイオリンを始めた。10歳でフィラデルフィアのカーティス音楽院に入学し、以降17歳まで、イザイ最後の門下生として著名なヤッシャ・ブロツキー氏から指導を受けた。カーティス音楽院に入学した1年半後にオーケストラ・デビューを果たし、1995年にはマゼール指揮／バイエルン放送響と共演して15歳でドイツ・デビュー。さらに1999年、フィラデルフィア管のソリストとしてカーネギー・ホールにもデビューした。

現在彼女は、ヨーロッパ、アジアそして北米各地で、世界の一流オーケストラとの共演や、注目すべきリサイタル・シリーズへの出演を定期的に行っている。2013-14シーズンには、待望のアルバム「27の小品:ヒラリー・ハーン・アンコール（In 27 Pieces:Hilary Hahn Encores）」をリリースする。これは彼女の委嘱作品初演プロジェクトであり、2011年～13年にかけて世界的なプレミア・ツアーを行い、絶賛を受けている。

フィルハーモニア管弦楽団　*Philharmonia Orchestra*

1945年EMI（当時の英コロンビア）の芸術部長W.レッグによって創設。その後R.シュトラウス、カラヤン、トスカニーニ、フルトヴェングラー等の巨匠を指揮者に招き、その名演と共に一躍欧州楽壇の注目の的となった。特にカラヤンとは多くの録音を残し、欧米各地に演奏旅行も行った。その後クレンペラー、ムーティ、シノーポリが首席指揮者となり、90年はシノーポリ、2007年はインバルの指揮により、東京で『マーラー・チクルス』の公演を行なった。1997年にドホナーニが首席指揮者に就任。さらに2008年エサ=ペッカ・サロネンが首席指揮者及びアーティスティック・アドヴァイザーに就任。現在はサロネンの他に終身名誉指揮者にドホナーニ、桂冠指揮者にアシュケナージという陣容となっている。

©Clive Barda